

市議会だより

平成30年12月定例会 議案等の審議結果	▶	2
一般質問	▶	4
議会報告会の結果報告	▶	10
私もひとこと	▶	14



◆常任委員会現地調査◆

厚生常任委員会では、12月定例会の現地調査において市立総合病院を訪れました。吉原総合病院長から総合病院の概要、経営分析や医療を核とした複合体エリア構想、今後の働き方改革について、病院現場が抱えている課題等を直接伺うことができました。

主な議案等の審議結果

平成30年
12月定例会



桂城小6年生の皆さん

平成30年12月定例会は、11月27日から12月13日までの17日間の会期で開催されました。市長提出議案は、専決処分の報告1件、条例案14件、単行案9件、予算案14件、同意1件の合計39件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。

今定例会には、桂城小6年生の皆さんを初め、大館市在宅介護者の会の皆さん、田代地区行政協力員協議会の皆さん等、多くの市民の皆さんが傍聴に訪れました。どなたでも傍聴できますので多くの市民の皆さんの御来場をお待ちしております。

条例案

- ・大館市印鑑条例の一部を改正する条例案
- ・大館市公園条例の一部を改正する条例案
- ・大館市桜櫓館に関する条例案
- ・大館市立武道館に関する条例を廃止する条例案
- ・大館市花岡総合スポーツ公園に関する条例の一部を改正する条例案

原案可決

他9件

単行案

- ・大館市農林水産物直売施設の指定管理者の指定について
- ・大館市大館地域の公園施設の指定管理者の指定について
- ・大館市比内地域の体育施設及び公園施設の指定管理者の指定について
- ・大館市田代地域の体育施設及び公園施設の指定管理者の指定について

原案可決

他5件

予算案

平成30年度大館市一般会計補正予算（第5号）案

<主な事業>

・大館駅周辺整備事業負担金	3, 118万8, 000円
・ふるさと応援寄附推進事業費追加	1億1, 749万5, 000円
・秋田犬から始まる物語ビルドアップ事業費追加	105万4, 000円
・現年発生農業・林業施設災害復旧費追加	1, 064万1, 000円
・現年発生公共土木施設災害復旧費追加	5, 409万5, 000円

以上を含め、歳入歳出予算補正額 **3億1,967万8,000円**

起立採決により原案可決

〔賛成 25〕
〔反対 2〕

平成30年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案 他12件

原案可決

12月定例会に提出された請願・陳情

採 択

【請 願】

- ・交通事故を防ぎ、子供や老人などの命を守るための通学路・歩道の拡幅について（釈迦内地区）

趣旨採択

【陳 情】

- ・安全・安心の医療・介護を実現するため、夜勤体制の改善と大幅な増員を求めることについて
- ・介護労働者の労働環境及び処遇の改善を求めることについて
- ・全国を適用地域とした看護師の最低賃金制度の新設を求めることについて
- ・介護保険制度の改善と介護従事者の処遇改善等を求めることについて

継続審査

- ・後期高齢者医療の自己負担割合を2割にしないことを求めることについて

継続審査となっていた請願・陳情

継続審査

【請 願】

- ・セシウムを含む焼却灰受け入れ再開への反対について
- ・労働基準法改定案の撤回を求めることについて
- ・沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて
- ・パークゴルフ場の設置について
- ・武道館解体に伴う代替施設建設について
- ・環境に優しく災害時に強いLPガス設備等の積極的な活用について

【陳 情】

- ・消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書の提出要請について（2件）
- ・臓器移植の環境整備を求めることについて
- ・山田字双久地内などの用水路を市管理の河川に認定することについて
- ・山田字花岡越地内及び字杉の沢地内の用水路を市管理の河川に認定することについて
- ・食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的な見直しを求めることについて

大館市議会から意見書を提出しました

● 西十和田トンネルの建設を求める意見書

《提出先》 青森県知事、秋田県知事

防災タイムラインの取り組みについて

齊藤 則幸 議員 (公明党)



〔市長〕 米代川や早口川、下内川の流域で、大雨による河川が増水したときのタイムラインを検討すべき。

〔市長〕 台風発生時のタイムラインや下内川以外の県河川タイムラインについても、策定していくものと推察されるため、対象河川の流域の皆様との協議も視野に入れ、多様なタイムラインの策定に参加してまいりたい。

認知症高齢者の見守り体制について

〔市長〕 今後の認知症高齢者の見守りについて、市ではどのような取り組みがされているか。

〔市長〕 「大館市見守り隊」や、愛犬の散歩時の「はちくんパトロール隊」、高齢者の持ち物に張りつけたシールのQRコードを読み込むことにより、探している家族に連絡が取れる「見守りシール」の交付を行っ

ている。

介護保険の取り組みについて

〔市長〕 市内6カ所の地域包括支援センターを核とした相談サービス

の充実に努め、家族介護教室の開催による介護者の負担軽減を図っている。レスパイトケア※については、ショートステイなどの介護サービスや市立総合病院で行っているレスパイト入院が利用可能である。

「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」について

〔市長〕 市内では、ことし11月に大館圏域ふくし会がいち早く認証を取得したほか、大館市社会福祉事業団など4団体が、今年度の認証取得に向け宣言を行ったものである。

がん検診や特定健診の受診率向上は

〔市長〕 乳がん、子宮がん検診で利便性向上につながると考えており、検討を重ねたい。

「ネット予約」はどうか

〔市長〕 「ネット予約」はどうか。乳がん、子宮がん検診で利便性向上につながると考えており、検討を重ねたい。

※レスパイトケア…在宅介護の介護する側が一時的に介護負担から解放され、休みを取れるように支援を行うこと。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

来春の大館市長選挙について

態度を表明すべき

田村 儀光 議員 (平成会)



〔市長〕 来春の統一地方選挙の日程(県議選4月7日、市長・市議選4月21日)が決定した今、態度を表明すべき。

〔市長〕 かつては世界第2位の経済大国であった我が国は、バブル崩壊と同時に国力が落ち、諸外国に追い抜かれた。そのような中で私は市議会議員として政治家の道を歩み始めた。政府の進める地方創生は「地域間競争」ではなく「地域間連携」であると認識している。我が大館は「地域間連携」において扇のかなめであり、その実現に向けて責任を持ち先頭に立って進めていく力があると確信している。「匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく」「未来創造都市」の実現をお約束し、ここに来春予定の市長選への出馬を表明させていただきたい。

地方創生交付金のあり方に

政治力を発揮してほしい

〔市長〕 これまで、多くの交付金のさまざまな事業の認定等、政治力の高さに感心している。しかし、事業の使途について、地方がもっと自由に使える交付金になるよう市長会等を通して、霞が関に風穴をあけていただきたい。福原大館市長ならできると思うが。

〔市長〕 政治力が一番求められる分野が交付金である。政治力は市議会にあっては発揮できず、霞が関等に私自身が出て行って初めて発揮できると考えている。大館が今考えていることを直接先方に伝え情報を共有するなど、今後も政治力を発揮していきたいと考えている。

今年度の除雪について

〔市長〕 除雪について、除雪業者への最低補償はあるのか。

〔市長〕 暖冬などで稼働が少ない場合に補償する「最低補償費」は設定している。今後、支払い金額や使途の範囲などについて検討する必要がある。

城跡・桂城公園に内堀の復元を

中村 弘美 議員 (平成会)



のばせる外構とする予定である。「お堀復元」の思いを真摯に受けとめ、城址公園周辺に大館城のたたずまいが感じられるよう模索してまいりたい。

奥州平泉と矢立廃寺について

〔問〕 大館城跡現地説明会や「大館城下を江戸の絵図で歩く会」に参加した人たちから「堀の復元を」という声が聞かれた。歴史まちづくりの先進地山口県萩市に行き、外堀の復元された姿を見てきた。江戸時代には幅18間もあつた堀を半分以下に狭くし3メートル程V字型に掘り下げた底には水深10センチメートル、幅1メートル程の水路がつくられ、水がゆつくりと流れていた。50年・100年先を見据え堀の復元を求めたい。

〔市長〕

奥州平泉と矢立廃寺については、歴史的風致維持向上計画に取り組み横手市や美郷町も含めて平泉町と広域的な交流を行っているが、矢立廃寺の研究結果もその中に反映できないか検討してまいりたい。奥大道の復元についても取り組んでまいりたい。今後も歴史的な御縁を生かして交流の推進に努めてまいりたい。

〔市長〕 限りある土地の利用や復元に要する時間や経費などから、復元は極めて困難であると判断した。しかし、本市の歴史を後世に継承したいとの思いから、新庁舎内に大館城関連の歴史資料や発掘成果などの展示を計画しているほか、お堀があつた新庁舎北側に、水盤として橋やお堀を現代的に再現し、往時をし

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

農業用ドローンに助成を

佐藤 健一 議員 (いぶき21)



農業について

〔問〕 農地の集積、大規模農家の育成にはドローンの活用が必要と思ふが、助成の考えはないか。

〔市長〕

ドローンの農業分野への活用は、大規模農業法人等を中心に導入が進むものと見込んでおり、市としては、今後も農業分野におけるドローンの利用状況を見ながら支援制度の創設を検討する。

〔問〕 飼料用米「めんこいな」の基準単収見直しの考えはないか。

〔市長〕

飼料用米の直接支払交付金の算定は、その年の作柄による基準単収の調整が行われる。

歴史まちづくり基金

〔問〕 古民家等の歴史的建造物の保存は。

〔市長〕

現在、文化財指定の建造物は、国指定の大館八幡神社、県指

定の鳥潟会館・北鹿ハリストス正教会聖堂、市指定の長岐邸武家門である。歴史的風致形成建造物の指定は、国の登録有形文化財の桜櫓館、大館神明社、大館八幡神社の拝殿・幣殿で、ほか4件が候補である。また、県の近代和風建築総合調査では、市内の14件が重要建造物として選ばれ、これらの物件を注視していきたい。

〔問〕 郷土芸能の後継者づくりに支援を。

〔市長〕

市では、今年度から文化庁の補助事業で「文化遺産活用まちづくり実行委員会」を立ち上げ、大館神明社祭典実行委員会・大館ばやし保存会・建築士会などが活動を進めている。今後は、各郷土芸能保存会にも同実行委員会の参加を働きかけ、積極的なまちづくりにつながるよう取り組みたい。

都市再興基本計画について

〔問〕 田代地域の今後の計画は。

〔市長〕

「自然の恵みととも、多世代が輝く住みよい地域づくり」を将来像として、スポーツレクリエーション拠点機能の充実や、地域の足確保推進事業を進めたい。

市世論調査の集計結果について

佐藤 眞平 議員（新生クラブ）



〔市長〕 各地域の実情を把握することは、よりきめ細かく施策に反映することができるので、次回の平成31年度実施予定分から導入したい。

地域活動拠点の分館について

〔問〕 分館の役目・あり方は。

〔教育長〕 分館は地域に根づく活動拠点として、また、災害時の2次避難所としても重要である。市民版ふるさとキャリア教育の役割を担いながら存続したい。

〔問〕 分館の修繕の優先度は。

〔市長〕 地域の要望を集約し、計画的に施設修繕を行っている。危険な箇所、雨漏りやドアの故障など、施設の維持に支障を来すところは優先して施設の維持に努めたい。

タイ王国のパラリンピック キャンプについて

〔問〕 民間受け入れは。

〔市長〕 競技施設は問題ないが、宿泊施設は合宿した自治体から情報を収集して万全を期したい。

〔問〕 ボッチャ競技の普及は。

〔市長〕 花岡総合スポーツ公園体育館にコートを常設し、用具の貸し出しや各地区での教室を考えている。

〔問〕 重要度・満足度の数値を見てもどう考えるか。市は第2次新大館市総合計画策定後、18歳以上の市民を任意抽出し、施策項目を5段階で評価していただいた。その数値結果をどのように捉えているか。

〔市長〕 本調査は、おおむね2年に1回市の各施策に関して実施し、市民サービスの現状把握・質の向上と施策の方向性を図る上で重要な調査である。今回の結果は、重要度・満足度ともに過去5回の平均値を上回り、行政運営に一定の評価と受けとめているが、まだ十分ではない。特に「消防・救急救助体制・防災」では「道路・交通網・情報基盤」などの施策が重要と感じている。

〔問〕 今後の調査と成果の表示について、データは市の平均点を示したもので、地域によっては違う数値結果が出ると思う。地域別の数値を示していただきたい。

一般質問

幾度となく起こる

農村・農用地等への災害対応について

石垣 博隆 議員（平成会）



ンフラの構成要素でもある農地や農村を保全するものである。市としては、この交付金を活用し、地域の実情に沿った効率的かつ有効性のある活動を展開した優良事例や経理指導などさまざまな機会を通じ紹介し、地域がみずから考え行動に移す取り組みがより一層推進されるよう図っていきたい。

種苗交換会の大館市開催について

〔問〕 農業関係者はもちろん大館市民全体で受け入れ態勢を整えるべき。大館市らしい、大館市ならではの種苗交換会の開催に力強い支援体制をお願いする。

〔市長〕 主催となる秋田県農業協同組合中央会との連携を図り、協賛事業を推進していく。また、この機会を捉え、北東北における陸路・鉄路・空路の要所である本市の優位性を生かしながら、さらに来春オープン予定の「秋田犬の里」をシャトルバスの発着所とすることにより、駅前周辺の誘客につなげるなど、あらゆる可能性を探り、大館・秋田を広く発信したい。

〔問〕 災害が起こりうる危険度を各農村集落や関係組織と共有し、予防対策や維持管理の中・長期的災害予防の計画等はあるのか。

〔市長〕 農業農村整備事業管理計画を策定し、災害に伴う農業用施設への被害を軽減するための中・長期的な対策については、本計画に基づき実施している。

〔問〕 「多面的機能支払」の組織と他の自治組織や制度と連携した、より強固な災害予防対策や農村環境整備活動に進化するべき。

〔市長〕 比較的小規模な水路等の被災を未然に防止するためには、多面的機能支払交付金制度の活用が有効である。この制度は、農業者を初め地域住民が一体となって取り組むことにより、農業の持続的発展と地域資源の質の向上を図るもので、防災・減災効果が得られるグリーンイ

大館市議会

検索

クリック

おおしな 大子内射撃場について

あかし
明石

ひろやす
宏康 議員（いぶき21）



地域でハンターを育成できなくなることは、ひいてはハンター減少を一層加速させる要因にもなるだろう。公的支援の必要性について精査することを切望する。来年以降、市長への要望活動や議会への請願書提出などの動きが出てくるだろう。

〔問〕 熊やイノシシ・鹿に代表される有害鳥獣による脅威が深刻な社会問題になっている昨今、ゾーニングによるすみ分け、駆除活動による有事の対応や頭数管理は、日々その重要性を増している。ハンターが日々技術を研鑽する上で欠かせない施設が射撃場であり、定期的に義務づけられた教習や訓練のほとんどがここで行われる。大子内射撃場は、近隣市町村では唯一の指定教習・練習射撃場であるが、近年老朽化が著しい。

元々はハンター有志らで設立され、多くのハンターが腕を磨き、有害駆除活動の一線で活躍する人材を輩出してきたが、その存続が危ぶまれている。北国のため通年営業もできず、人件費や管理費・修繕費など多大な労力と費用がかかる。昨年は施設を利用するハンターから寄附を募るなど厳しい経営を余儀なくされている。

〔市長〕 大子内射撃場は、ハンターが日ごろから技術を磨くための大切な場所であり、北鹿地域唯一の新規猟友会会員の育成の場として非常に重要な施設であると認識している。頻発する鳥獣被害対策は、大館・北秋田・鹿角地域共通の課題である。そのためにも本射撃場を存続させることについては、その認識を関係市町村間で共有しなければならぬ。重要かつ喫緊の課題である。公的資金の必要性については、年々減少している鳥獣被害対策実施隊員育成・確保のため農林水産省の「鳥獣被害防止総合対策交付金」などを活用した鳥取市での取り組みなども参考に、県とも相談しながら広域的に取り組むため、早急に検討する。

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

よしわら
吉原

ただし
正 議員（いぶき21）



みなれた地域で暮らせるよう、2025年に向けて地域での支え合いや生活支援の体制づくりに取り組んでいる。

歴史まちづくり基金

〔問〕 重点区域での本格的事業が始まったが、区域外の事業や支援はどのように展開されるのか。

〔市長〕 市内全域で歴史的風致を守り育てることが大切。継承が困難になっている伝統芸能や歴史資源の保全について、支援策を相談しながら進めてまいりたい。

ふなびとキャリア教育の共有

〔問〕 全国的に誇れる本市のキャリア教育。授業スタイルや子供たちの活発な姿を多くの市民に見てもらえるよう、また、教員が心身ともに健康であるための対策を。

〔教育長〕 市民に理解・応援していただける絶好の機会。全学校での取り組みを指示したい。教員の長時間勤務は大きな問題である。国の根本的な見直しがない中で充実感を持って教員は多いが、負担の軽減策推進にも努めている。

市農業の前進に向けて

〔問〕 生産調整見直し初年度の検証と来年度への対応は。

〔市長〕 本年は市の目安面積より567ヘクタール下回った。価格の安定のため来年も目安の提示を継続する。

〔問〕 大規模経営での周年雇用確保と所得向上のため、冬期農業への取り組みを進めるべきでは。

〔市長〕 有効な提案である。県・JAと連携して意欲ある経営体情報提供し、研修会等を推進する。

団塊の世代の75歳に向けて

〔問〕 施設に入所できなくとも医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されてこそ安心して地域で暮らすことができる。その仕組みづくりが急務である。

〔市長〕 要介護状態になっても住

紹介状の無い新患が法に従い、受付で1,620円の初診時保険外併用療養費を支払うことに同意した時の対応等について

佐藤 芳忠 議員（無所属）



〔問〕 健康保険法により、市病のような200床以上の病院は、紹介状がなく直接来院した初診の患者については、初診費用とは別に初診時保険外併用療養費の負担の同意を得て診察することになりました。市病は他市のように全員診察するのにか。

〔管理者〕 紹介状を持参せず、緊急の治療を要する状態でない場合であっても、その日の外来の状況や医師の予定を考慮し、当日の受診が可能と判断した場合には、1,620円をいただくことに同意を得た上で、診療の受付を行っています。

JRのために駅を建てるより市民のためにプールや武道館を造るべきでないか

〔問〕 とうとう市は6億4,500万円という市の適正な見積もりではなく、13億5千万円というJRの高額な見積もりで大館駅を建てることにしました。JRの負担は0。市の負担は最終的には9億円超になり、今議会に基本設計委託料が予算措置されました。

JRの見積もりは1,312㎡で

3,118万円ですが、八公の駅は1,239㎡で268万円、市本庁舎は7,330㎡で3,348万円でした。JRの見積もりは同規模の面積の八公の駅の11倍で、建築費50億円の市本庁舎とほぼ同じ額なのです。

基本設計の異常な高さを考えれば、市の見積もりの倍以上の13億5千万円の大館駅の建築には問題があるものです。市費を無駄にしないためにJRと協議し直すか、駅前広場のロータリー化を止めて大館駅の建築計画を白紙に戻すべきです。

6月議会でも言いましたが、もはや駅ビルは合築駅ではなくJR大館駅でしかありません。合築駅でないのに9億円超もの市費を使い大企業JRのために大館駅を建ててやる必要などありません。市費はJRのためではなく市民のために使うべきです。

市がJRのために大館駅を建てるようにしているとき、多くの市民はプールや武道館を造ってほしいと望んでいます。お考えをお聞かせください。

〔市長〕 合築駅事業は駅前地区の賑わいと活気を創出し、未来へとつながる事業と位置づけています。プール、武道館の建設は、市民の皆様からも要望いただいておりますが、市は旧大館工業高校跡地を広域スポーツゾーンと位置づけ、総合スポーツ公園として整備を進めています。大館北ICからのアクセス性が良く、市内外からの利用を期待しています。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

大館市財政健全化審査意見書について

阿部 文男 議員（平成会）



地域ふれあい除雪
支援事業について

〔問〕 近年、ますますの高齢化に伴い対象者がふえていく一方、担い手がいない状態が深刻化している。高齢者に優しいまちづくりのために早急に対策を講じてもらいたい。市長の考えは。

〔市長〕 市では、来年度から市庁舎建設事業等、大型事業が待ち受けている。これにより道路等のインフラ整備がおくれ、市民生活に支障を来すことのないよう、状況を見きわめながら慎重に進めてほしい。市長の考えは。

〔市長〕 現在、計画進行中の本庁舎建設事業を初め、あきた未来づくりプロジェクト事業等、今後、短期間に大型事業が集中し、建設事業費が一次的に増加する時期を迎える。当面の方策としては国・県補助金のほか、これまで積み立ててきた庁舎等整備基金、公共施設解体撤去基金などの繰り入れと合わせて合併特例債や過疎債等の活用により各年度の一般財源の負担を可能な限り平準化していく。また、道路等のインフラ整備を初めとする市民生活に密着する分野の予算は、今後も確実に措置していく。



地域ふれあい除雪の様子

妊婦への「医療費加算」はなくすること

笹島 ささじま 愛子 あいこ 議員 (日本共産党)



レ対策は重要だ。また、災害ごみの集積箇所や処理問題など、大規模災害を想定した対応をすること。

〔市長〕 災害時のトイレは、安全性やプライバシーに配慮しながら年次計画に基づき備蓄を進めている。災害ごみ置き場については、その都度状況に合わせて、市民生活に支障のない場所を公共施設から選定することとしている。

国保税の引き上げ案には、断固として反対を貫くこと

〔問〕 国民健康保険の財政運営は、今年度から県に移行した。国や県は統一税率にしようとしている。これにより、税率の引き上げが行われる可能性がある。今でも高過ぎる国保税だ。今からきっぱりと反対を表明すること。

〔市長〕 国や県では、県単位で国保税率の統一を目指しているが、統一時期については地域の実情が異なるため、現段階では難しいとされている。今後も安定的な運営が持続できるように本市に適した税率を決定していく。

〔問〕 東日本大震災時、市内は停電しポンプでくみ上げている地域ではトイレが大変だったとのこと。以前にも質問したが食糧と同じくトイレ

災害時のトイレ・ごみ問題について

一般質問の全文は、3月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録をご覧ください。

一般質問

扇田病院の老朽化に伴う

維持管理と今後のあり方について

相馬 そうま エミ子 えみこ 議員 (新生クラブ)



年間に9件もの職員のミスや不祥事がたび重なり、その都度綱紀粛正を促しているが、市民の信頼は取り戻せるのか。

〔市長〕 改めて強く遺憾の意を表す。再発防止に精力的に当たり、職員の意識の向上と市役所全体の綱紀粛正に向け、不断の努力を重ねていく所存である。

妊婦健診の費用を全額助成することについて

〔問〕 経済的な心配がなく安心して出産を迎えるためにも妊婦健診の費用を全額助成する考えはないか。

〔市長〕 市では、母体や胎児の健康管理に配慮し、さまざまな制度や事業を紹介し、心理的・経済的な負担軽減を図っている。

ひきこもりアウトリーチ事業と就労支援について

〔問〕 親亡き後、ひきこもりの若者たちはどうやって生活していったらいいのか。

〔市長〕 広く市民にひきこもりへの理解を深めてもらうことが重要。広報等により相談窓口の周知を図る。また、ひきこもり対策推進事業の情報収集を行い、事業の充実に努める。

市長の政治姿勢について

〔問〕 今定例会もまた陳謝で始まった。いずれも病院職員で医師と技師による酒気帯び運転である。法を遵守すべき立場の職員が法令違反をするのはいかなるものか。外来診療着服事件が未解決の中、この3

〔市長〕 同病院は老朽化により給排水や空調等の故障が頻発しており、致命的な故障とならないよう計画的に部分修理や機器更新を行っている。病病連携・病診連携・介護との連携など、医療と生活、病院と在宅を結ぶ重要な役割を担っている。今後、地域の医療需要に見合った医療提供体制の確保など、さまざまな議論の推移を注視しながら対応していく。

平成30年
7月開催

議会報告会 市に対するご意見 ご要望とその回答

昨年7月に行われた議会報告会における、市に対するご要望等につきまして、市当局から回答が届きましたのでここに掲載いたします。紙面の関係上、回答は一部省略していますが、大館市議会ホームページでは全文を公開しておりますので、そちらでもごらんになれます。

問 近ごろ、ひきこもりやいじめられた子供が重大犯罪を犯しているが、教師のいじめで不登校やひきこもりが多くなったと思う。体罰を学校が隠している場合もある。教師による生徒への暴力の有無について教えてほしい。

答 教師による体罰はあってはならないことであり、教職員に対しても日ごろから校長が指導を行っております。また、昨年度、市内の小・中学校で体罰はなかったことを確認しております。

問 北陽中学校のそばに頻繁に熊が出ている。部活等で帰宅が遅くなる中学生を守ってほしい。
答 北陽中学校周辺に、おりを設置するなどの対策を実施しましたが、その後も目撃情報が続いたため、8月に通学路周辺の下草の刈り払いを実施しました。学校では、登下校の時間帯に合わせて職員が自家用車で通学路を巡回するとともに、現地での安全指導を実施しております。

問 新庁舎建設の市の持ち出しはどれくらいか。余り金をかけないようにしてほしい。

答 現在の概算事業費として、約49億9,000万円を見込んでいるところです。今後の社

会・経済情勢によってさらに資材単価の変動も予想されますが、できるだけ50億円程度の事業費に抑え、将来の市の財政負担が大きくなるよう努めてまいります。

問 市立病院では「名前を書いて投書すれば、きちんと回答する」としているが、私の「眼科は9時15分〜9時30分から診察を始めている。どうして他科のように9時から始めないのか」との投書には回答が来なかった。そのため事務局長に電話をしたが、たらい回しされ、担当者の説明で終わったがなぜか。

答 貴重な御意見をいただいたいながら、正式な回答をしないままとなり、まことに申しわけありませんでした。眼科は常勤医師1人、非常勤医師2人の体制ですが、うち1人の非常勤医師は遠方から出勤しているため勤務開始が9時以降となっていること、常勤医師が前日直前に当たっている場合は勤務が免除されることなどが原因となっておりました。昨年4月からは、診療開始時間を「原則9時」に改めましたが、現時点の医師数では患者様に対応するにはまだ不足している状況です。今後とも診療がスムーズに進行するよう工夫してまいります。

問 ターゲットボードゴルフをニプロハチ公ドームの語らいの森で行っているが、大木が多く、かなりの樹齢で枝の落下がことも2件あった。午前中には幼稚園児の散歩も見かけられ、事故がなければと心配だ。指定管理者に申し入れてもよい返事が来ない。

答 語らいの森の樹木につきましては、7月末に支障木の伐採や剪定などを実施したところであります。今後は、樹木の維持管理を徹底するよう指定管理者に指導してまいりますので、御理解をお願いいたします。

問 長木川の河川敷でラジオ体操を行っている。以前は年4回草刈りをしてくれたが、今は2回だけ。河川敷は距離も長い。市の中心でもあり、草だらけにしないでもっと力を入れてほしい。

答 長木川河川緑地の草刈りは6月上旬、8月上旬、9月中旬に作業を実施いたしました。また、利用団体による御協力もいただきながら、職員による作業も含めて維持管理に努めているところです。今後は活動に支援いただける市民や団体などを募り、草刈り作業の実施時期についても検証してまいります。

問 中道児童公園の奥の方に松の大木がある。カラスが営巣しているのを駆除してほしい。
答 現地で見視による状況調査を行いました。カラスの営巣は確認できませんでした。今後、改めて専門業者に依頼の上、発見した際には速やかに駆除してまいります。

問 扇田病院の着服事件が起きた原因については、もっと分析が必要ではないか。また、市長は「職員の意識改革をしていく」と答弁しているが、どのように意識改革に取り組んでいくのかよくわからない。

答 扇田病院の事件が起きた原因につきましては、患者さんから支払われた自己負担金の集計データを改ざんできることを病院担当者が把握していなかったこと、病院のチェック体制や受託業者の管理体制の不備、また着服額が徐々に増加していたことが患者数の減少や医療制度の改正などで気づきにくい状況だったことなどが挙げられます。また、職員の意識改革につきましては、医事業務が適正に行われているか定期的に打ち合わせを開催し、職員相互にコンプライアンス意識の向上について周知徹底を図っております。

問 市立病院の患者が減って赤字がふえていると新聞に出ていた。まず、希望した人が市立病院で診てもらい、症状が軽かったら別の病院に行くことにすれば、患者はもつとふえ、赤字も解消されるのではないか。

答 総合病院の医療費収入のうち、入院収入が病院の収入に大きく影響しております。一部の診療科で常勤医師が不足していることから入院診療を制限しなければならぬ状況が発生していますが、病棟自体は維持する必要がありますが、収入と支出のバランスが崩れて赤字の要因となっております。このため、医師確保を含め入院診療体制の充実を図るとともに、外来診療において地域の医療機関との連携をさらに強化する必要があると考えております。

問 市立病院で、ある人は紹介状がなくてもよかったとか、ある人は断られたとか聞くと、市民にわかるように説明してほしい。

答 総合病院では、紹介状の持参を必要としている診療科と持参を不要としている診療科があります。患者数が多く医師が少ない呼吸器循環器内科・消化器血液腫瘍内科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科および眼科で

は、原則として新患は紹介状をお持ちの方を優先させていただいております。これらの診療科において、紹介状を持たない患者さんにもできるだけ対応しておりますが、患者さんの病状を初め、受診する診療科の当日の患者数、担当する医師の手術等の日程を考慮しながら当日の診療の可否を個々に判断することとなります。

問 扇田病院の着服事件は、誰に責任があるのか、はっきりさせてほしい。

答 扇田病院の着服事件につきましては、元従業員は、医事業務受託会社の業務管理のもと収納業務に従事し、その全ての現金を病院職員に引き継ぐべき責任がありました。病院に引き渡す前の受託会社の管理下にある現金の保管の過程で、現金を抜き取る不法行為が行われていたものです。その元従業員の使用者責任は受託会社にあることから損害賠償請求の民事訴訟を提訴したところであります。現在係争中の事件であり、責任の所在は司法の判断に委ねることになりますので、御理解をお願いいたします。

問 統廃合されている小学校の活用はどうなっているのか。

答 統廃合などで閉校した校舎については、旧矢立中学校を公民館として活用したほか、地元民の団体と企業に貸し出して活用する取り組みを進めています。現在、旧山田小学校など4施設を貸し付けていますが、未活用の廃校施設がまだあることから、29年9月、文部科学省ホームページの「みんなの廃校」プロジェクトに旧大葛小学校と旧岩野目小学校を掲載し、活用を希望する企業等を募集しているところですよ。

問 健康なまちづくりに取り組んでほしい。

答 市では、健康寿命日本一を目指して健康づくり人材育成事業や健康ポイント事業、健康づくりチャレンジ事業所認定事業を実施しているところです。さらに妊娠期からの切れ目のない子育て支援や心の健康づくりの推進など、ライフステージに応じた市民の健康づくりに努めております。

問 大葛には、すばらしい自然があり、コテージ、旧小学校校舎、温泉等々がある。この地域が元気で活性化していくよう大葛市でも最大限の努力をしてほしい。

答 大葛地区につきましては、

休業した比内ベニヤマ荘周辺の再生について市と地区の代表者等とで現在協議中です。要望のあった路線バスを町民浴場まで延伸することについては昨年10月から運用を開始することになりました。今後も、ベニヤマ荘周辺の再生、そして大葛地区の活性化を目指して協議を続けてまいります。

問 旧正札竹村の取得には反対であった。今回、本館が解体されているが、解体後の活用計画はあるのか。

答 旧正札竹村本館棟につきましては、建物の損傷や老朽化が著しいことから解体すべきと判断し、今年度から解体工事に着手しているところです。解体後の跡地は、民間事業者主体の再整備に期待しているところであり、周辺一帯の面的な整備につながるよう、その実現化構想や具体化方策を関係者と検討してまいります。

問 旧正札竹村を取得するだけではなく、全体的なビジョンが必要であった。早くビジョンを示すよう要望する。

答 旧正札竹村新館A・B棟は、引き続き現状の建物の活用を促進し、立体駐車場跡地は公的利用の推進に向けて関係機関と

協議中です。また、本館棟解体後の跡地利用は、その周辺再生を図る拠点として民間の再整備に期待しており、その実現化構想や具体化方策を関係者と検討してまいります。

問 大葛のコテージを利用したサテライトオフィス事業は、その後どうなっているのか。旧大葛小学校を利用しているシエアオフィスも考えられるのではないかと。観光と食は密接な関係がある。食のこともPRしてほしい。事業は単発ではなく継続していくことが重要である。

答 ベニヤマ荘のコテージを活用したサテライトオフィス事業は、昨年度は7社227人の企業等に勤務体験をしていただきました。この取り組みの成果により、8月に株式会社あしたのチーム（本社・東京都中央区）のサテライトオフィス開設につながりました。今年度も同事業を実施しております。また、観光と食につきましては、本場大葛きりたんぼまつりや肉の博覧会などで多くの方に楽しんでいただいているほか、渋谷区民祭など県外のイベントにおいても、さらなる知名度向上のため積極的にPRを行っております。



〈平成30年7月5日 釈迦内公民館〉

問 市中心部にはケーブルテレビがあるようだが、早く市全域で行政ニュース・情報・スポーツ・芸能・各種イベントがケーブルテレビで見られるよう努力してほしい。

答 市中心部では、大館ケーブルテレビ（ニューデジタルケーブル株式会社）が設備を整備し、ケーブルテレビのサービスを提供しております。地域密着型の放送事業者は、市内では同社しかなく、市では、これまでもサービスエリアの拡大をお願いしてきておりますが、エリア拡大には新たな整備が必要であり、同社の事業計画や経営方針にも関わる問題であることから、御理解をお願いいたします。

問 市長は観光に力を入れてい

る。そこで、奥羽本線・内陸線など鉄道を利用した観光戦略も必要ではないか。小坂町には小型の蒸気機関車があり、それらを利用する方法もあるのではないか。

答 JR東日本秋田支社が中心となり、函館・津軽・秋田広域観光推進協議会が設立され、周遊ルートの確立に向けて取り組んでおり、このJRを活用した観光戦略の実現を図ってまいりたいと考えております。小坂町の蒸気機関車については蒸気機関車を活用した誘客により、本市への来訪者もふえることを期待しております。

問 地域おこし協力隊は、1回で終わるのではなく、2回・3回と継続してほしい。

答 本市では、地域おこし協力隊が移住交流課・観光課・学校教育課の3課に所属しておりますが、移住交流事業や秋田犬を軸とした観光振興、教育の産業化の推進のため、今後も地域おこし協力隊を継続して活用してまいりたいと考えております。

問 「扇田地名発祥の地」の看板が倒れている。

答 御要望の看板は、隣接する廃工場の屋根からの落雪により破損したもので、平成28年に撤

去いたしました。多少現状に合わなくても撤去したものをできるだけ早く立ててほしいとの御要望から、現地を確認の上、支障がなければ撤去した看板を復旧させる方向で対応してまいりたいと考えております。

問 歴史まちづくり事業は旧大館のことだけだ。他の建物にも予算を回すべき。

答 現在、市では国から支援を受けられる重点区域内の「歴史的風致形成建造物」に指定された建物の保全と活用に取り組みしております。御要望の重点区域以外の建物につきましては、どのような支援が可能か、建造物所有者の意向や地域の皆様の御意見を伺いながら、地域の皆様に相談してまいりたいと考えております。

問 こでの回収方法がよくわからない。住民はほとんど知らない。もっと広報を徹底し、設置場所を提示してほしい。

答 こでん回収は、電気や電池で動く小型家電のうち、こでん回収ボックスの投入口を通るものを対象としております。回収ボックスは市内38カ所に設置しております。くわしくは毎戸配布している冊子「家庭ごみの正しい分別表」をごらんください。

また、周知につきましては、家庭ごみの正しい分別表や広報おおだて・市ホームページへの掲載、町内会や団体への出前講座などを実施しております。

問 公園の利用者が多いが、遊具が壊れていてテープを張っている。保育所の遊具は土・日は使えない。2年間も壊れたままなので、早く直してほしい。

答 損傷や劣化が著しい遊具は利用者の安全確保のため使用を禁止しておりますが、撤去や更新を必要とする遊具が相当な数にのほります。このため、国の交付金制度を活用しながら計画的に更新を図ることとして、全体で5カ年での整備完了を目標に、今年度から着手しております。

問 大館には歴史的建物があるが、看板や資料はなく草はぼうぼうだ。案内板・パンフレット・草刈りなど、整備を市全体でやってほしい。

答 本市における国や県、市の指定文化財などの多くは、所有者や地域の皆様の御支援で守り育てていただいております。歴史的な建物の敷地を市が全て除草することは困難ですが、所有者や地域の皆様とご相談し、改善のための方策を検討してまい

ります。

問 大滝温泉の危険空き家について、通学中の事故も心配である。債権者が複雑で法律的にも難しさがあるとのことだが、対策をお願いしたい。

答 御要望箇所の空き家対策につきましては、適正管理するよう所有者に通知するとともに、連絡先が判明している所有者には直接電話で申し入れてきたところですが、問題の解決に至っていない状況です。今後、所有者と連絡を取りながら、解決に向け進めてまいりたいと考えております。

問 道目木から大滝に来る道の雪解け後のアスファルトの補修の仕方が雑で、かなり傷んでいる。労災病院があり救急車もよく通るので補修をていねいにやってほしい。

答 旧国道103号の大滝温泉入口のY字路から労災病院へ向かう最初の十字路までの間の道路につきましては、応急補修においても丁寧な施工に努めるとともに、損傷状況を確認しながら補修計画への組み入れを検討してまいります。

問 湯夢湯夢の広場はひどい状態である。遊具も遊べる状態

はない。桜の木がたくさんあったが、てんぐ巣病が蔓延している。観光課予算と自治会で協力して対応しているが、今後は高齢化が進んで厳しい。

答 湯夢湯夢の広場につきまして、自治会員が高齢化して業務が厳しいという点につきまして、今後自治会と協議してまいりたいと考えております。また、遊具については状況を確認し、市民が気持ちよく利用できるよう、管理をしてまいりたいと考えております。

問 茂木墓所、成章書院などの歴史関係箇所の草刈り等整備を十二所4町で手分けしてやっている。整備費用を予算化してほしい。

答 現在、国・県・市の指定文化財などがあり、所有者や管理者、地域の皆様の努力により守られ、後世に継承されてきましたが、これら全ての文化財を市の責任で維持していくことは物理的に不可能な状況です。今後、地域の皆様で地元の大事な歴史や文化を共有しながら、地域の文化財を地域で守る活動を展開していただければと考えております。

問 道路管理について。国や県より修繕などの遅れがあるので

はないか。他市に比べ損壊などの直りが遅くはないか。

答 道路の維持管理につきましては、定期的に道路パトロールを実施しながら道路状況の把握に努めており、随時業者による舗装の補修を行っております。また、緊急対応が必要な箇所は職員による応急処置も実施しております。今後も、道路パトロールを実施しながら適切な対応に努めるとともに、計画的な補修に努めてまいります。

問 公民館について、地区公民館のない地域ではコミュニティーが停滞している。拠点は必要である。

答 地域コミュニティーのために拠点を設け、地域の活性化を図ることは大変重要であると認識しております。現在、市には中央公民館のほか、地区公民館を11地区に設置しており、さらに19の分館があります。地域に密着した生涯学習事業や貸館業務のほか、災害時には防災拠点としての避難所の役割も担っております。

問 合葬墓について。秋田市では大好評と聞く。市民に必要かどうかアンケートをとったらどうか。

答 市では市内の宗教法人（お

寺等）にアンケートを実施しております。その結果を市民から相談があった際に情報提供し、御意見を伺いながら合葬墓等の必要性について検討してまいりたいと考えております。

問 孤独死が後を絶たない。対策を講じてほしい。

答 市では、民生委員による高齢者在宅実態調査、商品を配達する事業所や郵便局等に異変について行政や警察に連絡していただく高齢者見守り隊、ひとり暮らしや高齢者世帯の緊急時の連絡体制を確保する緊急通報システムなど、高齢者を見守るためのさまざまな事業により、孤独死防止に努めているところで

問 田代地区の幹線道路の春さきの舗装の補修は穴埋めだけの簡易的なもので、1カ月程度しかもたない。全体的な補修はできないのか。

答 田代地域の舗装補修は、幹線道路の市道早口線について重点的に補修を進めております。今後も幹線市道の損傷状況を把握しながら補修を計画的に進めてまいります。

問 岩野目地区では農業集落排水が平成16年度に供用開始した。

工事後、大型トラックの通行で補修部分から壊れていく。なぜだろうか。

答 岩野目地区の農業集落排水管を埋設したあとの舗装復旧は、埋設した側の車線のみで復旧となっており、全幅員での復旧と比べると舗装は傷みややすいことは御指摘のとおりです。全体的な補修は必要と考えておりますので、損傷状況を把握しながら補修を計画的に進めてまいります。

問 除雪について、農道を冬期間使用できるようにして、災害時の迂回路としての機能をもたせるために、年数回の除雪をお願いしたい。

答 岩野目集落の山側の農道については、道幅が3〜4メートルで除雪後はさらに狭くなるため、脱輪などが多発するおそれがあります。このため、冬期間の迂回路としては適しないと判断し、除雪を行わない区間としておりますので、御理解をお願いいたします。

問 清水町のエコプラザから洋服の青山間の道路状態が悪い。

答 御指摘の市道御成町片山根下戸線は交通量が多く、舗装の激しい摩耗により路面がわだち状態となっているため、平成28

年度から大館駅入口交差点から片山方面に向けて補修工事を実施しております。今年度は155メートルを実施する予定としており、今後も引き続き当該市道の補修を計画的に進めてまいります。

問 扇田ふれあい公園の子供の遊具を使えるようにしてほしい。

答 ふれあい公園の木製遊具・ブランコなどの遊具は、損傷や劣化が著しいことから利用者の安全確保のため使用を禁止しております。市内の各公園においても撤去や更新を必要とする遊具が相当数あるため、国の交付金制度を活用しながら計画的に更新することとしており、全体では5カ年での整備完了を目標に、今年度から着手しております。



〈平成30年7月6日 大葛高齢者・若者センター〉

私もひ・と・こ・と

第35回

佐藤 岳 杜さん(向田)



地域の担い手とついで

私は就農6年目の専業農家です。私の住んでいる向田地区は昭和46年頃に県営圃場整備事業による整備が行われ、恵まれた圃場条件で営農をすることができるところです。そのような環境下でありながら最近では、地域の人口減少に歯止めがかからず高齢化が進み、離農者が後を絶ちません。このような状況は何も私の地域、農業分野に限ったことではありません。就農する以前、私は県外で銀行員として勤めておりました。一次産業・中小企業等、地域の中核を担うべき産業において、担い手不足

から経営の継続に目途が立たず廃業を余儀なくされる経営者を多く見えました。世代別の人口構成比から見ても同様のケースはこれから速度を急激に上げて増え続け、ゆくゆくは地域崩壊に繋がる恐れがあると考えます。銀行を辞め農家になったことについて、もったいないと言われることは多いですが、自分の生まれ育った地域、そして農業が崩壊していくかもしれない危機にあることを思えば不利益だとは思いません。

このような状況を打破する手段として上川沿の農業法人が一つの優良事例となると思いますが、地域・行政・JAが一体となり話し合いを重ねた結果、大きな前進があったことから学ばべきものが多いと考えます。もちろん、平場の大規模農業や中山間地域農業等それぞれ事情は異なりますので、各地域に行政が入りその地域に合ったプランを策定することが大切です。ぜひ地域を担っていく若手農業者を交えた、今後の農業についての話し合いの場を増やし

学生時代はラグビー部。最低限のルールさえ押さえれば観ていてこれほど面白いスポーツはありません。今年のワールドカップが楽しみです。

ていただきたいと思っています。

また、地域の話と言えば消防団は外せません。昨年度、私の所属する比内第3分団が小型ポンプ走法の部で全県大会出場を果たしました。私は素人同然の超が付く下手でありましたが、連日による先輩方の熱い指導、半端ない練習により1番員として出場するまでに成長させていただき、良い経験をさせてもらったことに感謝しております。「火災・災害が無いように」とは願いますが、いつ何が起こるかわかりませんが、今消防団員数に目立った減少は無いようですが、あらゆる事態に対応できるように、人員の確保について大館市議会の皆様に御協力いただければと思います。

「私もひとこと」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108 (直通)

編集後記

「おもしろきこともなき世をおもしろく」言わずと知れた高杉晋作の辞世の句であります。一般的に議会の審議内容はおもしろきことではなく、ましておもしろくできる内容でもありません。

議会報委員はその内容をなんとかわかりやすく伝えたいと、見やすい構成や、文章の推敲など、影ながら頭をひねり、毎号の発行に至ります。

どうか市民の皆様には、発行に至る影の努力に思いを馳せていただき、半ば高杉晋作になった気持ちで、少しだけおもしろく感じていただけたら、議会報委員冥利につきます。



(日景 賢悟 記)